

めあて 学しゅうした かん字や かな字を よんだり、かいたりしよう。

一 つぎの ーせんのところの かん字の 正しい よみかたを  
ひらがなで ていねいに かきましょう。

1 虫が とぶ。

①

2 犬が ほえる。

②

3 きれいな 花が さく。

③

4 白い ゆきが ふる。

④

二 つぎの えを 見て、かたかなの ことばを かきましょう。

1

プ



⑤

2

ジ



⑥

3

ン



⑦

4

ペ



⑧

5

ア

タ



⑨

※つぎの ページにも 問題が あります。

めあて どんな ふねがあるかに きをつけて 文しよを よもう。

三 つぎの 文しよを よんで、あとの もんだいに こたえましよう。

いろいろな ふね

ふねには、いろいろな ものが あります。  
きやくせんは、たくさんの 人を はこぶ ための  
ふねです。

この ふねの 中には、きやくしつや  
しよくどうが あります。

人は、きやくしつで 休んだり、しよくどうで  
しよくじを したり します。

フェリーボートは、たくさんの 人と  
じどう車を いっしよに はこぶ ための ふねです。

この ふねの 中には、きやくしつや 車を とめておく  
ところが あります。

人は、車を ふねに 入れてから、きやくしつで 休みます。

「いろいろな ふね」より（令和二年度 東京書籍）



1 きやくせんは 何のたための ふねですか。  
に あう ことばを かきましよう。


--	--


た  
め

2 きやくせんの中 には 何がありますか。  
に あう ことばを かきましよう。


や


3 たくさんの 人と じどう車を いっしよに はこぶ ための  
ふねは 何ですか。  
に 七字で かきましよう。


⑬

⑪

⑩

令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト  
前年度問題(第一回) 国語 小三

組 番 氏名

7 問中

めあて 文と文とのつづき方に気をつけて、作り方をせつ明する文しよようを書こう。

- 一 よしおさんは、「ぶんぶんごま」の作り方を、つぎの手じゆんで書きました。
- 1 おもちゃの名前、とくちよう、用意するものを書き出す。
  - 2 作り方を、じゆんじよが分かるように書き出す。
  - 3 1、2をもとに、文しよようにする。

【1のれい】、【2のれい】、【3のれい】を読んで、あとの問題に答えましよう。

【1のれい】

- おもちゃの名前  
ぶんぶんごま
- とくちよう  
ぐるぐる回すと、ブーンブーンと音を立てる。
- 用意するもの  
画用紙 ・ 細いひも ・ きり  
・ のり ・ クレヨン ・ はさみ

【2のれい】

- ぶんぶんごまの作り方  
ぶんぶんごまは、ぐるぐる回すと、ブーンと音を立てるおもちゃです。
- 用意するもの  
画用紙 ・ 細いひも ・ きり  
・ のり ・ クレヨン ・ はさみ
- 作り方  
①、画用紙を四角い形に切ったものを二まい作ります。
- ②、切った画用紙のかためにクレヨンでもようをかきます。
- それから、画用紙のりではり、きりであなをあげます。
- ③、④ できあがりです。

「作ってあそぼう」より(令和二年度 学校図書)

【3のれい】

- ① 四角い形に二まい切る。
- ② もようをかく。
- ③ のりではる。
- ④ 二つのあなをあげる。
- ⑤ ひもをとおしてむすぶ。

1 【3のれい】の(1)から(3)に入るじゆんじよが分かることばとして、ふさわしいものを、つぎのアからウまでの中からえらんで、その記号を書きましよう。

- ア つぎに  
イ さい後に  
ウ まず
- (1)  ①
- (2)  ②
- (3)  ③

2 【3のれい】の(4)に入る文を、「できあがりです。」につながるように、【2のれい】に書かれていることばをつかいて書きましよう。

できあがりです。

④

※つぎのページにも問題があります。

めあて 書き手がつたえたいことを考えて、だいたいなことばや文をさがしながら読もう。

二 つぎの文<sup>ぶん</sup>しようを読んで、あとの問題<sup>もんだい</sup>に答えましょう。

コンセントに さしこむ プラグの 先には、あなたが あいて います。これは、出っぱりを 引っかけると ための あなです。

コンセントの 中には 出っぱりが あり、それが、プラグの あなに 引っかかる ように なって います。この ことにより プラグが ぬけにくく なるのです。



うえ木ばちの そこには、あなたが あいて います。これは、いらぬ水を 外に 出す ための あなです。たくさん 水を やった ときに、あなが ないと、水が 下の 方に たまって しまいます。水が 長い 間 たまって いると、ねが くさる ことが あるのです。



しようゆさしには、二つの あなが あいて いる ものが あります。二つの うち、一つは、しようゆを 出す ための あなで、もう一つは、空気が 入る ための あなです。しようゆが、小さい あなを 通って 出るには、空気の 通り道が ひつようです。あなが 一つしか ないと、空気が 入って こないので、しようゆが 出なく なって しまうのです。



このように、あなには、いろいろな やくわりが あります。この ほかに、みの 回りには あなの あいて いる ものが たくさん あります。みなさんも あなを さがして、どんな やくわりがあるか 考えて みましょう。

「あなのやくわり」にいだ ゆみこ 文 より (令和二年度 東京書籍)

1 プラグの先とうえ木ばちのそのあなは、何のためにあいていますか。つぎの①、②のことばにつながるように、文しよう中のことばをつかって書きましよう。

① プラグの先のあなは、

ためにあいている。

② うえ木ばちのそのあなは、

ためにあいている。

2 しようゆさしのあなが一つしかないと、どのようなことがおこりますか。「しようゆが」につづくように、文しよう中のことばをつかって書きましよう。

しようゆが

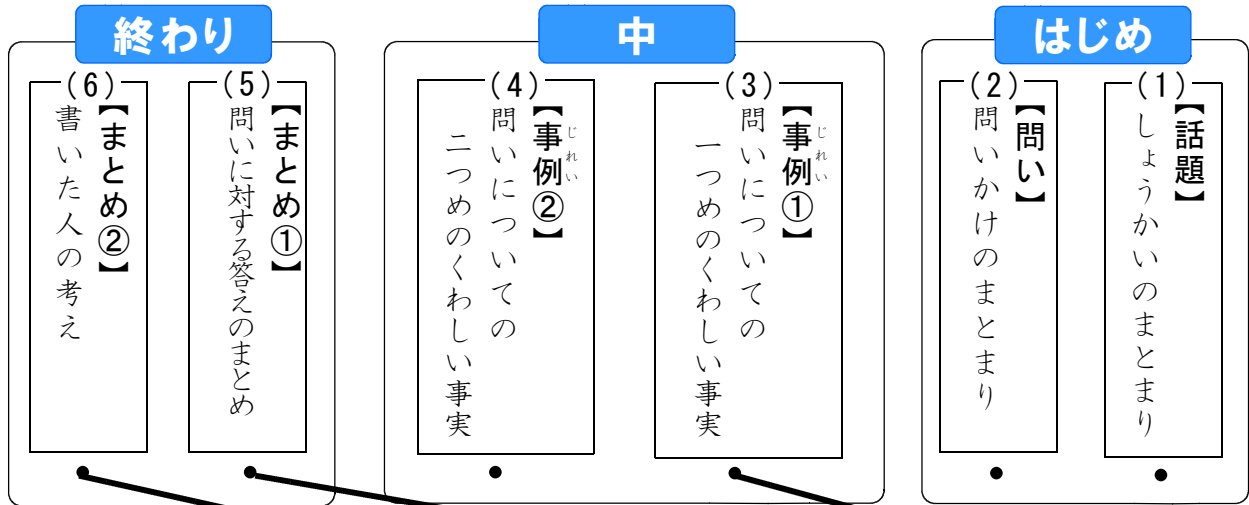
。

めあて だん落とだん落とのつながりを考えて、説明文を書こう。

一 物事の仕組みや、書いた人の考えなどを説明している文章を「説明文」といいます。説明文は読む人が分かりやすいように、つながりを考えて書かれています。次の【①つながりを考えてならべた文】、【②じゅん番にならんでいない説明文】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【①つながりを考えてならべた文しようのまとめり】

【②じゅん番にならんでいない説明文】



ア このように、こん虫のぎたいは、自分の身を守ったり、えものをとったりするのに役立っています。

イ では、こん虫のぎたいは、どのように役立っているのでしょうか。

ウ 「ぎたい」とは、その虫が生きていくための大切なとくちょうです。そして、生きていくうえでのおちえなのです。

エ 自分のすがたや色を、まわりの物や様子にさせて、他の動物の目をだますことを「ぎたい」といいます。ふだんよく見るこん虫の中には、この「ぎたい」をするものがあります。

オ 緑色をしたカマキリも、草や葉の中にまぎれてじっとしていると、どこにいるかわからなくなります。そのため、気づかずに近よってくるこん虫を、かまの一げきでとらえて食べるすることができます。

カ 「つながりを考えて書こう」より（令和二年度 学校図書）

※次のページにも問題があります。

1 ②の「ア」から「カ」を読んで、①の(1)から(6)のどのまとまりに当たるかを考え、線でつなぎます。①の「(1)、(2)、(4)」のまとまりとつながるものを、②の「ウ、オ、カ」からえらんで、その記号を書きましよう。① ② ③

※左の解答らんは下書き用なので、使わなくてもかまいません。(3)、(5)、(6)には、正しい記号が入っていますので、考える時のさんこうにしてください。解答は、解答用紙に書きましよう。

(1)						
(2)						
(3)	ア					
(4)						
(5)	イ					
(6)						
	エ					

2 ②の「ア」の文を「カ」の文のように、「そのため」を使って二つの文に分けて書き直すことにしました。「そのため」を使って「ア」の文を二つの文に分けたとき、  
 A と  B に入る言葉を書きましよう。④

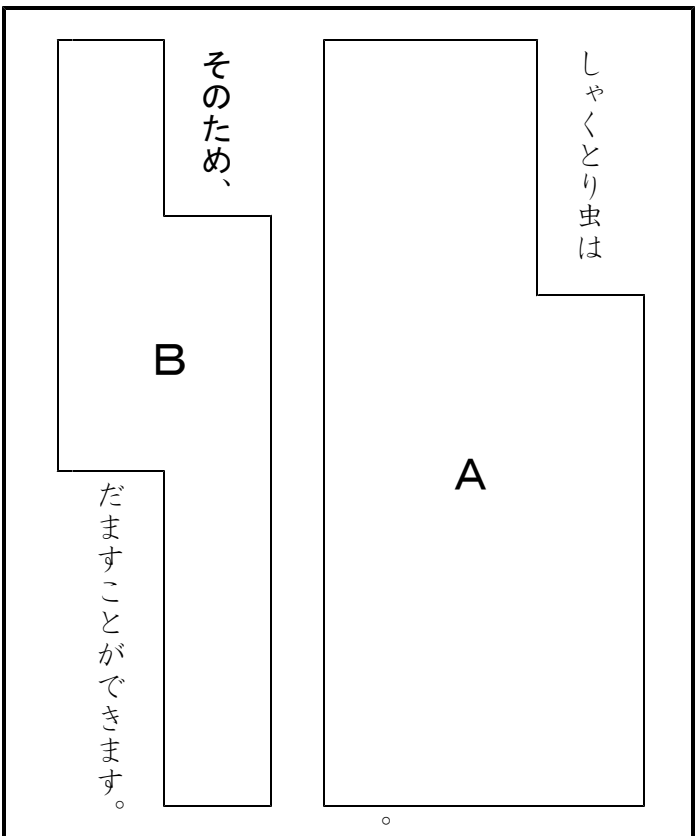
※左の解答らんは下書き用なので、使わなくてもかまいません。

### ア

しゃくとり虫は、木のえだに止まっ  
てじっとしていると、まるでそこに  
本物のえだがあるように見えるので、  
しゃくとり虫を食べる鳥の目をだま  
すことができます。

### カ

緑色をしたカマキリも、草や葉の  
中にまぎれてじっとしていると、ど  
こにいるかわからなくなります。そ  
のため、気づかずに近よってくるこ  
ん虫を、かまの一げきでとらえて食  
べることができます。



アの文のどこに  
「そのため」が入る  
か考えてみよう。



次のページにも問題があります。

めあて 二つの文章を読みくらべて、自分の考えをもとう。

二 ほけん室の大森先生は、朝ごはんをしっかり食べてほしいと思い、「ほけんだより」に、朝ごはんについて書くことにしました。大森先生が書いた二つの文章を読みくらべて、あとの問題に答えましょう。

【二つ目の文章】

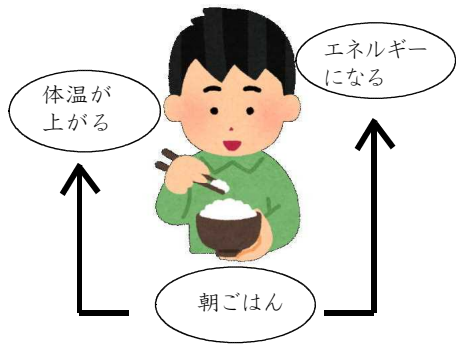
朝ごはんをしっかり食べよう

みなさんは、朝ごはんをきちんと食べていますか。

朝ごはんは、みなさんが元気に生活するために、大切なものです。

朝ごはんはエネルギーになります。みなさんが、体を動かしたり、勉強したりするためには、エネルギーがひつようです。ですから、朝ごはんを食べないと、エネルギーがなくなってしまい、体がだるくなってしまいます。

また、朝ごはんを食べると、体温が上がり、体を動かすじゅんぴができます。お昼くらいまで高い体温がつづくので、午前中を元気にすごすことができます。朝ごはんをしっかり食べて、元気に生活しましょう。



【二つ目の文章】

朝ごはんをしっかり食べよう

みなさんは、朝ごはんをきちんと食べていますか。

朝ごはんを食べないと、元気がなくなったり、だるさを感じたりすることがあります。

下の表は、だるさを感じてほけん室に来た人に、朝ごはんを食べたかどうかを聞いたものです。これを見ると、食べた人より食べなかった人のほうが多くいることが分かります。どうして、朝ごはんを食べなかったのでしょうか。

朝ごはんを食べなかった人に、その理由を聞いてみました。すると、もっとも多い答えは、「食べる時間がなかった」というものでした。

朝ごはんは、毎日のけんこうのためにかかすことのできない、大切な食事です。朝ごはんをしっかり食べて、元気に生活しましょう。

食べなかった主な理由

食べる時間がなかった	11人
おなかがへって いなかった	5人

ほけん室に来た人と朝ごはん

朝ごはんを食べなかった人	20人
朝ごはんを食べた人	10人

『ほけんだより』を読みくらべようより（令和二年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

1 二つの文章を読みくらべると、大森先生が、読み手にもっともつたえたいことは同じであることが分かります。それはどんなことですか。次のアからウまでの中から一つえらんで、その記号を書きましよう。⑤

- ア だるさを感じてほけん室に来た人は、朝ごはんを食べなかった人が多かったこと。
- イ 朝ごはんは、毎日を元気に生活するために、きちんと食べるひつようがあること。
- ウ 朝ごはんを食べると、お昼くらいまで高い体温がつづくこと。

2 あなたは、朝ごはんをしっかり食べてもらうためには、【二つ目の文章】と【三つ目の文章】のどちらを「ほけんだより」にしたらよいと思いますか。えらんだ文章と、その理由を次の【条件】に合わせて書きましよう。⑥

【条件】

- えらんだ理由は、自分がえらんだ文章から言葉や文を取り上げて書くこと。
- えらんだ理由は、「なぜなら、」につづくように五十文字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。  
※とちゅうで行をかえないで、つづけて書きましよう。

わたしは、					つ目の文章をえらびました。なぜなら、
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----
-----	-----	-----	-----	-----	-----



国語 解答用紙

★先生方へく解答欄の①く⑥の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

一	1	(1)
		(2)
		(3)
		ア
		(4)
		(5)
		イ
		(6)
		エ

① ② ③

2

しゃくとり虫は、

---

そのため、

だますことができます。

④

二  
1

⑤

2

わたしは、

つ目の文章をえらびました。なぜなら、

（ここから左には解答を書いてはいけません）

50

学校名	
組	
出せき番号	
氏名	
中問9 / 6問中	

令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト

前年度問題(第一回) 国語 小五

組 番 氏名

めあて 事実と意見を関係づけながら読み、筆者の意見に対する自分の考えをもとう。

一 田村さんは、次の【文章】を読み、筆者が体験したことや考えたことについて、表に整理して自分の考えをまとめ、学級の人々に伝えることにしました。次の【文章】と【筆者の体験と考えを整理した表】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【文章】

段落のはじめにある丸数字は、その段落の番号を示しています。

く(省略)く

① そこでわたしは、自分自身の体験を生かして、視覚しかくしようがい者がA博物館を楽しむための方法をけんとうすることにしました。

② ちょうどわたしがEはたらき始めた二〇〇一年ごろ、博物館ではいろいろと新しい動きが出てきて、その中に「ユニバーサルミュージアム」という考え方がありました。だれもが使いやすい製品せいひんや表示ひょうじのデザインというCいみの言葉に「ユニバーサルデザイン」があります。これを博物館に取り入れると「ユニバーサルミュージアム」となります。要するに、だれもが楽しめる博物館、全ての人にFひらかれた博物館というCいみです。

③ 視覚しかくしようがい者も楽しめる博物館とはどういうものだろうと考える中で、一つのヒントになったのがアメリカでの体験です。

④ アメリカの博物館では、前もって申しこんでおくと、視覚しかくしようがい者のためのガイドが提供されます。ガイドはみなボランティアで、こせいな人が多く、B熱心に案内してくれます。またタッチツアーといってさわられるてんじ物を選んで説明してくれるサービスもあります。

⑤ 博物館に点字のパンフレットや点字ブロックをそなえることもたしかに必要ですが、やはり、人によるサービスが大事なんだと強く感じました。手をとって、声をかけて、いっしょに歩くことが視覚しかくしようがい者が博物館を楽しむうえで、とても大切なのだと分かりました。また、視覚しかくしようがいのない人にとって、「さわる」とはどのようなことなのかについても、この仕事を進めるうちに少しずつ自分の考えが変わってきました。

⑥ 赤ちゃんは何にでもさわわり、口に入れようとします。しかし、大きくなるにしたがって「さわってはいけません。」「なめてはいけません。」「と言われて、だんだんと視覚しかく中心の生活になり、本来もっていたはずの触覚しょかくの力をわすれてしまいました。

⑦ いろいろなものにさわる中で、自分は触覚しょかくのそんざいをわすれていたと気づく、ねむっていた力を発見するといった体験をすることを、わたしは「さわっておどろく」と言っています。このさわっておどろくことへのきっかけになるような経験けいけんが、博物館でできるのではないかとDきたいしています。

く(文章が続)く

「さわっておどろく」 広瀬浩二郎 より(令和二年度 学校図書)

※次のページにも問題があります。

【筆者の体験と考えを整理した表】

体験（事実）	段落 G	アメリカの博物館では、視覚しようがい者のためのガイドが付き、熱心に案内してくれる。 タッチツアーといってさわられるてんじ物を選んで説明してくれるサービスもある。 手をとって、声をかけて、いっしょに歩くことが、視覚しようがい者が博物館を楽しむうえでとても大切なのだと分かった。また、視覚しようがいのない人にとって、「さわる」とはどういうことなのかについても、この仕事を進めるうちに少しずつ自分の考えが変わった。「さわっておどろく」ことへのきっかけになるような経験が、博物館でできるのではないかときたいしている。
筆者の思い や考え	段落 ⑤～⑦	は、 H 筆者が考えている「さわっておどろく」と
私の考え	だと思った。	私は、筆者の体験や考えを読んで、視覚中心の生活をしていることに気づいた。そして、いろいろな感覚が大切なんだと思った。

1 【文章】の——部A、Bの漢字の読み方を書きましよう。①②

2 【文章】の——部C、Dを漢字に直しましよう。③④

3 【文章】の——部E、Fを漢字に直したとき、適切なものを次のアからウまでのの中からそれぞれ一つ選び、その記号を書きましよう。⑤⑥

- E ア 働らき      イ 働き      ウ 働たらき
- F ア 開かれた      イ 開れた      ウ 開らかれた

※次のページにも問題があります。

4 【文章】の

の文で、の言葉がくわしく説明している言葉を、次のアからウまでのの中から一つ選び、その記号を書きましよう。⑦

赤ちゃんは 何にでも さわり、口に 入れようと します。

ア 何にでも イ 赤ちゃんは ウ 入れようと

5 【筆者の体験と考えを整理した表】の中の G に入る最も中心となる段落

を、①から④までのの中から一つ選びましよう。⑧

6 筆者が考えている「さわっておどろく」とは、どのようなことですか。【筆者の体験と考えを整理した表】の中の H に入る内容を、次の【条件】に合わせ

て書きましよう。⑨

【条件】

○ 【文章】から、言葉や文を取り上げて書くこと。

○ 『さわっておどろく』とは、「ではじまり、二十五字以上、四十字以内にまとめて書く」と。なお、書き出しの言葉は字数にぶくまない。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。  
※どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましよう。

「さわっておどろく」とは、

40				25					

7 田村さんは、筆者の体験や考えを読んで、【筆者の体験と考えを整理した表】の のように考えました。あなたは、筆者の体験や考えを読んでどのように考えますか。あなたの考えを、書き出しの言葉に続けて書きましよう。⑩

※左のわくは、下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。

私は、筆者の体験や考えを読んで、

※次のページにも問題があります。

二 村上さんの学級では、自分たちが住む地いきのおすすめの料理や特産品を調べています。村上さんは、宮城県仙台市の特産品である「ささかまぼこ」がおいしくて栄養があるといいことを地いきの人に、伝えることにしました。次の村上さんが書いたリーフレットの【下書き】と【ことばを書き出したカード】を読んで、あとの問題に答えましょう。

【下書き】

表紙

食べれば分かる、じまんの味  
宮城の名産 **ささかまぼこ**



A 宮城県には、  
おいしい食べ物  
がたくさんあり  
ます。その中  
で、わたしは、  
おみやげとして  
も人気の「ささ  
かまぼこ」をお  
すすめする。

中ページ (右)



「こ」がおすすめ  
**ささかまぼこ**

ささかまぼこをおす  
めする理由は、おいしく  
て栄養があるからです。  
そのことが分かる例を、  
三つ挙げます。  
①魚のおいしさがいっ  
ぱい。  
宮城県は、おいしい魚  
の産地として有名です。  
ささかまぼこは、そのお  
いしい魚をすり身にして  
作られます。ささかまぼ  
こには、魚のおいしさが  
いっぱいまっているの  
です。

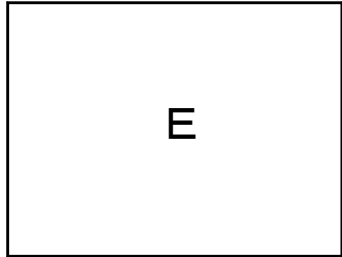
うら表紙

ささかまぼこのおいしい食べ方  
そのまま食べてもおいしいですが、  
くふうするとひと味ちがうおいしさが  
楽しめます。  
①ひやして、さし身のようにしよ  
うゆを付けて食べる。  
②オーブントースターやフライパン  
で、焼いて食べる。  
ぜひためしてみてください。  
参考  
・「宮城の食百科」〇〇社55ページ  
・□□かまぼこホームページ

中ページ (左)

②しよく人さんの  
心がこもってい  
る。ささかまぼこ  
作りには機かい  
も使われますが、  
だいじなところ  
では、しよく人  
さんが心をこめ  
て作業します。  
魚をさばく仕  
事です。おいし  
いささかまぼこ  
を作るため、す  
り身にうるこや  
ほねが入らない  
ように、しよく  
人さんが一つ一  
つていねいにさ  
ばくのだそうで

③栄養まん点の  
B 健康食。



このように、おい  
しくて、栄養たっぶ  
りのささかまぼこ  
を、小さな子どもか  
らお年よりまで、み  
なさんにおすすめし  
ます。

『ふるさとの食』を伝えよう」より（令和二年度 東京書籍）

※次のページにも問題があります。

【ことごとを書き出したカード】

ア だいじなところは、しょく人さんが作業する。(三年のときの工場見学)

エ 宮城県は、昔から漁業がさかんで、おいしい魚がたくさんとれる。  
〔宮城の食百科〕 ○○社  
55ページ)

キ 店で買うほかに、インターネットで注文して買うこともできる。(□□かまぼこホームページ)

イ チーズ入りや野菜入りなど、食べる人の好みに合わせた種類もある。(三年のときの工場見学)

オ 原料の魚のおいしさが生きている。  
〔宮城の食百科〕 ○○社  
55ページ)

ク 魚のすり身には、たんぱくしつがたくさんふくまれている。(□□かまぼこホームページ)

ウ すり身にうるこやほねが入らないように、しょく人さんがていねいに、心をこめて魚をさばく。  
(三年のときの工場見学)

カ さし身のようにしょうゆを付けて食べたり、焼いて食べたりするのもおいしい。  
〔宮城の食百科〕 ○○社  
55ページ)

ケ たんぱくしつは、健康な体作りに役立つ栄養ぞ。  
(□□かまぼこホームページ)

『ふるさとの食』を伝えよう』より(令和二年度 東京書籍<sup>せき</sup>)

1 【下書き】の ー 部 A、B の漢字の読み方を書きましよう。①②

2 村上さんは、竹内さんのアドバイスから【下書き】の表紙の一部の~~~~線の部分を書き直すことにしました。文の意味がかわらないように、書き直ましよう。⑬

表紙の一部



宮城県には、おいしい食べ物がたくさんあります。その中でも、わたしは、おみやげとしても人気の「ささかまぼこ」をおすすめする。

アドバイス 竹内より  
地いきの方に、読んでもらうことを考えて、文の終わりを工夫するとよいと思うよ。

※左のわくは、下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。

※次のページにも問題があります。

3 村上さんは、川田さんのアドバイスから【下書き】の中ページ（左）②を読み直し、言葉を書き加えることにしました。CとDをつなげる言葉として  に当てはまる言葉を次のAからEまでの中から一つ選び、記号を書きましよう。⑭

中ページ（左）

② しょく人さんの心がこもっている。  
C ささかまぼこ作りには機かいも使われますが、だいじなどころでは、しょく人さんが心をこめて作業します。  
D 、魚をさばく仕事です。おいしいささかまぼこを作るため、すり身にうるこやほねが入らないように、しょく人さんが一つ一つていねいにさばくのだそうです。

アドバイス  
川田より  
CとDの文のつながりが分かります。

感想  
石田より  
すり身にうるこやほねが入らないようにていねいにつくっている様子がよく伝わるね。

- A つまり                      イ このように                      ウ 次に                      エ 例えば

4 村上さんは、③の  E

にはたくさんの栄養があることを書くことにしました。【ことがらを書き出したカード】の中から、カードを二つ選び、次の【条件】に合わせて文章を書きましよう。

【条件】  
じょうけん

- 【ことがらを書き出したカード】から二つを選んでそのカードの言葉を使って書くこと。
- すりみは、栄養があること、健康によいことが伝わるように書くこと。
- 四十字以上、五十字以内にまとめて書くこと。

※左のわくは、下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましよう。

えらんだカード

と

⑮

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
50											
⑬											
				40							





	学校名
	組
	出席番号
	氏名
/ 16問中	

へここから左には解答を書いてはいけません

4					
					えらんだカード
					<input type="text"/>
					と
					<input type="text"/>
					(完全解答)

50

16

40

3

14

2
-----

13

ニ

1
A
B

11

12

令和五年度 ほっかいどうチャレンジテスト

前年度問題（第一回）国語 小六

組 番 氏名

めあて 学習した漢字を読んだり書いたりできるようにしよう。

一 次の——部の漢字の正しい読み方を、ひらがなで書いてねいに書きましょう。

- 1 音楽会の招待状を送る。①
- 2 険しい山道を登る。②
- 3 医師の道を志す。③

二 次の——部のカタカナを、漢字で書いてねいに書きましょう。

- 1 体育館でカッショウコンクールが行われる。④
- 2 今年のモクヒョウを立てる。⑤
- 3 学級委員に選ばれず、ザンネンだ。⑥

めあて 文の中での語句の係り方を理解できるようにしよう。

三 次の——部の言葉が、くわしく説明している言葉をアからウまでの中から一つ選び、記号で答えましょう。

- 1 子どもたちが 公園を 元気に 走り回る。⑦
- ア 子どもたちが
- イ 公園を
- ウ 走り回る。

- 2 わたしの 姉は、 ダンスが 得意だ。⑧

- ア 姉は、
- イ ダンスが
- ウ 得意だ。

- 3 わたしは、 きノウ 友だちに 手紙を 書いた。⑨

- ア わたしは、
- イ 友だちに
- ウ 書いた。

めあて 文章全体の構成を考え、すじ道の通った文章を書くことができるようにしよう。

四 山下さんは、レクリエーションの時間にみんなでドッジボールをすれば、クラス全員がもっと仲良くなれると考え、意見文にまとめることにしました。山下さんが作成した反対意見に対応するための【反対意見への対応のメモ】と、それをもとに、意見文の構成を整理した【構成メモ】を読み、あとの問題に答えましょう。

【反対意見への対応のメモ】

予想される反対意見  ○得意な人ばかりにボールが回り、ボールにさわれない人も出てくる。  ○ドッジボールはかたいので、当たると痛い。  ○得意な人の投げるボールは速くてこわい。  ○ドッジボールは休み時間にもできるので、別の遊びをしたい。	反対意見に対して  ・ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすように、ルールを変える。 ・ソフトバレーボールのようなやわらかいボールを使う。 ・得意な人は、ききうではない方ので、ボールを投げる。 ・全員で行えば、休み時間にするのより、もっともり上がるのではないか。 ・ドッジボールだとみんながルールを分かっている。
---	--

【構成メモ】

結論	本論			序論 <small>じよろん</small>
まとめ	反対意見への対応	予想される反対意見	提案理由	提案内容
	① ↓ボールを取った人が、まだ投げていない人にボールをわたすようにする。 ② ↓やわらかいボールを使う。	① 得意な人ばかりにボールがいく。 ② ボールが当たるといたい。	(1) ドッジボールはクラスの中でも人気がある。 ・ ルールの説明がいらぬい。 ・ 大勢で行えば、もっともり上がる。 (2) チームの協力が大切な遊びなので、クラス全体の仲が深まる。	レクリエーションの時間に、クラス全員でドッジボールをする。
	クラスをよりよくしていくにはどうすればよいか。 ↓全員が参加して楽しめる活動があるとよい。			

みんなが楽しめるようなルールにすれば、ドッジボールはクラスをよりよくするのにふさわしい活動である。

「反対の立場を考えて意見文を書こう」より（令和二年度 東京書籍<sup>せき</sup>）

※次のページにも問題があります。

1 意見文を書くときに、反対意見を予想して対応を考えることによさとして、当てはまらないものを次のアからエまでの中から一つ選びましょう。⑩

- ア 意見文を書く前に、自分の意見を見直すことができる。
- イ 意見文を書くときに、反論の内容を前もって理由の中に組み入れることができる。
- ウ 意見文を交流したときに、反対意見を出さなくすることができる。
- エ 反対の人にも納得してもらえるように、意見文を修正することができる。

2 山下さんは、「構成メモ」を見ながら、意見文の中に提案理由を書きました。【山下さんの意見文の一部】の⑪に入るふさわしい内容を文末の表現の仕方に基づいて書きましょう。

【山下さんの意見文の一部】

そこで、わたしは、レクリエーションの時間にクラス全員でドッジボールをすることを提案したいと思います。

理由は二つあります。一つ目は、クラスの中でとても人気がある遊びだということです。実際に、休み時間にドッジボールをしている人はたくさんいます。ルールの説明もいらぬし、大勢で行えば、もっともり上がると思います。二つ目は、

A 。ドッジボールでは、外野と内野の連係が重要になっ

てきます。友達と力を合わせることで、クラス全体の仲もさらに深まると思います。

3 山下さんは、「反対意見への対応のメモ」や「構成メモ」を見ながら、意見文の中に反対意見への対応を書きました。【山下さんの意見文の一部】の⑫に入るふさわしい内容を、次の【条件】に合わせて書きましょう。

【山下さんの意見文の一部】

もっとも、ドッジボールでは、得意な人ばかりがボールを取ることになり、ボールにさわれない人は楽しめないという心配があるかもしれません。ボールに当たるといいし、速くて強いボールはこわいという人もいるでしょう。確かに、ボールにさわれず、にげてばかりでは楽しめなかもいけません。その場合、全員が一度はボールを投げられるように、取った人は、まだ投げていない人にボールを回すようにすればいいと思います。また、

B

【条件】

- ○ 【反対意見への対応のメモ】や【構成メモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- ○ 三十字以上、四十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

※左のわくは下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。


40      30

※次のページにも問題があります。

めあて 筆者の説明の仕方を読み取り、文章と図表などを結び付けて必要な情報を見付けよう。

五 本田さんは、社会科で学習した「和の文化」に興味をもち、和菓子について調べたことをパンフレットにまとめることにしました。【日本の文化について書かれた文章の一部】を読み、あとの問いに答えましょう。

【日本の文化について書かれた文章の一部】

（省略）  
このように、和菓子は、さまざまな外国の食べ物のように受けられるとともに、年中行事や茶道などの日本の文化に育まれながら、その形を確立してきました。では、その和菓子の文化は、どのような人に支えられ、受けつけられてきたのでしょうか。

まず挙げられるのは、和菓子を作る職人たちでしょう。和菓子作りの技術には、まんじゅうなどの「包む」、どら焼きなどの「焼く」、ようかんなどの「流す」など、さまざまなものがあります。これらの技術は職人たちから職人たちへ受けつがれてきたものです。職人たちは技術をみがくだけでなく、季節ごとの自然の変化を感じ取ったり、ほかの日本文化に親しんだりすることで、和菓子作りに必要な感性を養います。

また、和菓子作りには、梅やきくの花びらなどの形を作るときに使う「三角べら」や「和ばさみ」、らくがんを作るときに使う「木型」など、さまざまな道具が必要です。さらに、あずきや寒天、くず粉などの上質な材料も和菓子作りには欠かせませんが、それらの多くは、昔ながらの手作業によって作られています。

和菓子作りに関わる道具や材料を作る人たちも、和菓子の文化を支えています。一方、和菓子を作る職人がいても、それを食べる人がいなければ、和菓子はいづれなくなってしまうのではないのでしょうか。

①、わたしたちが季節の和菓子を楽しむ味わたり、年中行事に合わせて作ったりすることも、和菓子の文化を支えることだといえるでしょう。和菓子は、和菓子作りに関わる職人だけではなく、それを味わい楽しむ多くの人に支えられることで、現在に受けつがれているのです。

このように、和菓子の世界は、知るほどにおくが深いものです。長い時を経て、それぞれの時代の文化に育まれ、いく世代もの人々の夢や創意が受けつがれてきた和菓子には、おいしさばかりでなく、伝統的な和の文化を再発見させてくれるようなみりよくがあるといえるでしょう。

わたしたちの毎日の生活の中には、和菓子にかぎらず、筆やろうそく、焼き物やしつ器、和紙、織物など、受けつがれてきた和の文化がたくさんあります。そこにどんな歴史や文化との関わりがあるのか、どんな人がそれを支えているのかを考えることで、わたしたちもまた、日本の文化を受けついでいくことができるのです。

中山圭子「和の文化を受けつぐー和菓子をさぐる」より（令和二年度 東京書籍）



木型をほる



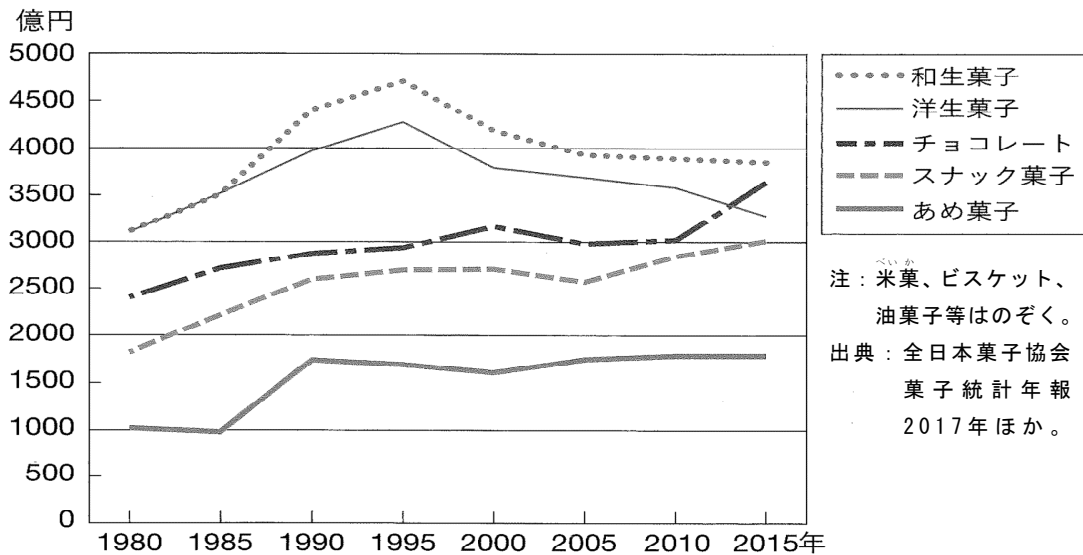
和菓子をつくる

1 ① に当てはまる言葉を次のアからエまでの中から一つ選び、記号を書きましよう。 ⑬

- ア しかし イ ですから ウ ところが エ さらに

※次のページにも問題があります。

菓子の年間生産額



ア チョコレートやスナック菓子は、一九八〇年から二〇一五年までの間に年間生産額が増えている。  
 イ 和生菓子は③まで年間生産額が増えたが、その後、少しずつ減っている。

【資料】菓子の年間生産額

【メモの一部】

3 本田さんは、【日本の文化について書かれた文章の一部】を読んで、和菓子がどのくらい生産されているかを調べてパンフレットにのせることとし、次の【資料】から分かったことをメモしました。【メモの一部】の③に当てはまる言葉を、前後の言葉とつながるように書きましよう。⑬

<p>【観点】</p> <p>和菓子の文化はどのような人に支えられ、受けつがれてきたのか。</p>	<p>【説明の内容】</p> <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>和菓子作りに関わる道具や材料を作る人たちについて</li> <li>和菓子を味わい楽しむ多くの人について</li> </ul>	<p>【資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職人の作業の様子の写真</li> <li>手作りで作る木型の写真</li> </ul>
---	--	--

2 本田さんは、パンフレットを作るときに参考にするために、筆者の説明の仕方を考え、文章の構成を表にまとめました。②に当てはまる言葉を、本文の言葉を使って書きましよう。⑭

※次のページにも問題があります。

4 本田さんは、自分の考えを整理するため、「日本の文化について書かれた文章の【部】の要旨をまとめることにしました。【日本の文化について書かれた文章の一部】の要旨を、次の【条件】に合わせて書きましょう。⑯

※要旨：筆者（書き手）が文章で取り上げている内容の中心となる事から

【条件】

- 「和菓子をはじめ、日本の文化は、くことで受けついでいくことができる。」という言い方につながるように書くこと。
- 二十五字以上、三十五字以内で書くこと。なお、書き出し、文末の言葉は字数にふくまない。

※左のわくは下書き用なので、使わなくてもかまいません。解答は解答用紙に書きましょう。

和菓子をはじめ、日本の文化は、

35	25		

ことで受けついでいくことができる。

小学校第六学年

国語 解答用紙

★先生方へく解答欄の①く⑩の番号は、問題結果登録の設問番号に対応しています。

一 1 2 3 しい す ① ② ③

二 1 2 3 ④ ⑤ ⑥

三 1 2 3 ⑦ ⑧ ⑨

四 1 ⑩

2 ⑪

3 40 30 また、 ⑫



学校名		組		出席番号		氏名	
/16問中							

へここから左には解答を書いてはいけません。

4					
ことで受けついでいくことができる。					和菓子をはじめ、日本の文化は、

16

3

15

2

14

1

13

五